

## 2025年度第1回プロジェクト評価委員会 議事抄録

日時：2025年6月9日（月）15:00～16:45

場所：国立天文台大会議室及びZoomによるWeb会議

出席者（敬称略）：

委員：井岡(Zoom)、犬塚(Zoom)、岩井(Zoom)、植村(Zoom)、大内(Zoom)、奥村(Zoom)、郡、  
齋藤<sup>††</sup>、高橋、藤澤<sup>†</sup>(Zoom)、町田、吉田(Zoom)（<sup>††</sup>委員長、<sup>†</sup>副委員長）

その他（議題3より）：生駒研究連携主幹、鵜澤技術主幹

オブザーバ：事務局（総務課総務係(古川、土屋)、研究評価支援室(堀)）

欠席者：徂徠委員

### 【議 題】

1. 委員自己紹介
2. 副委員長の選出について
3. 国立天文台プロジェクト評価とプロジェクト評価委員会について
4. 前回議事抄録の確認
5. 2024年度プロジェクト評価について（実施報告、評価報告書（案）の審議、「意見書」の検討）
6. 2025年度プロジェクト評価について
7. その他

### 【配付資料】

資料1 国立天文台プロジェクト評価委員会名簿

資料2 2024年度第2回国立天文台プロジェクト評価委員会議事抄録

資料3 2024年度プロジェクト評価実施報告

資料4 天文シミュレーションプロジェクト評価報告書（案）

資料5 太陽観測科学プロジェクト評価4項目原案

資料6 天文データセンター評価4項目原案

参考資料1 プロジェクト評価の考え方、プロジェクト評価委員会の役割とプロジェクト評価の進め方

参考資料2 国立天文台の組織構成

参考資料3 国立天文台プロジェクト評価委員会規則

参考資料4 プロジェクト評価実施年度まとめ

参考資料5 Scientific Goals and Missions (SOL)

### 【机上資料】

担当執行部一覧(2024年7月2日現在)

## 【議 事】

国立天文台プロジェクト評価委員会（以下、本委員会）の今期最初となる審議に先立ち、齋藤委員より、欠席した土居台長からの指名を受けて<sup>1</sup>、本委員会委員長に就任する旨、挨拶があった。以下、齋藤委員長による司会のもと審議が進められた。

### 議題 1. 委員自己紹介

資料 1 に基づき、本委員会の各委員より自己紹介があった。

### 議題 2. 副委員長の選出について

齋藤委員長より、参考資料 3 に基づき、藤澤委員が副委員長に指名され、了承された。続いて、議題 4、議題 5・6 に関する各プロジェクトの担当執行部である、生駒研究連携主幹、鶴澤技術主幹が議題 3 より出席することについて確認があり、了承された。

### 議題 3. 国立天文台プロジェクト評価とプロジェクト評価委員会について

齋藤委員長より、参考資料 1 に基づきプロジェクト評価の考え方と進め方、本委員会の役割について、参考資料 2 に基づき国立天文台の組織構成について、参考資料 4 に基づきプロジェクト評価の実施状況（2016年度～2024年度）と今年度のプロジェクト評価対象について、説明があった。

### 議題 4. 前回議事抄録の確認

齋藤委員長より、前回議事抄録（資料 2）について、前期プロジェクト評価委員会にて確定済（2024年7月31日）のため、概要が確認された。

### 議題 5. 2024年度プロジェクト評価について

#### 1) 実施報告

齋藤委員長より、資料 3 に基づき、天文シミュレーションプロジェクト（CfCA）を対象とする2024年度プロジェクト評価（国際外部評価）の実施報告があった。

#### 2) 評価報告書(案)の審議

外部評価委員会（EEC）委員を兼任した井岡委員より、資料 4 に基づき、評価報告書（案）の概要説明があった。続いて、評価コーディネータを担当した生駒研究連携主幹を含めて委員間で審議が行われた。審議の結果、評価報告書（案）の一部について、齋藤委員長が修正案を作成し、本委員会にてメール審議を行った後、EECへ連絡することとした。

#### 3) 「意見書」の検討

EECによる評価結果を踏まえ、本委員会から国立天文台へ「意見書」の提出は行わず、本日出た意見を議事（抄）録に残し、国立天文台執行部に対応を委ねることとした。

---

<sup>1</sup> 土居台長報告（2025年5月22日にメールにて連絡）：「国立天文台企画会議における審議内容に基づき、齋藤正雄氏を今期（2024年10月1日～2026年9月30日）の委員長に指名いたしました。」

齋藤委員長より、評価報告書のRecommendationへの対応について説明があった。1) 内容がプロジェクト向けか国立天文台向けかを執行部で確認後、重みづけを行い、対応すると判断したものは一年かけてフォローし、一年後の運営会議にて報告する。2) 当該プロジェクトの次回プロジェクト評価において、対応状況が問われる。

### 主な意見・質疑応答

#### ● EDI<sup>2</sup>：

- ・EECから建設的な意見をいただけたのは良かったが、EDIに関するRecommendationが3つあることを深刻に受け止めている。
- ・EDIについて、「job application」の数をモニターしてはどうか等、本委員会から国立天文台への「意見書」として提出することも可能である。
- ・昨今は「job application」でも性別の記載は要求しづらく、明記する人・しない人がいる。公募段階で男女統計を求めても、運用は難しいのではないか。
- ・当大学でも、人事毎に男女比は報告されるが、数や割合を維持する程度である。
- ・EECの議論でも、割合でよいとのことだった。

#### ● 評価（プレゼン+Q&Aセッション）へのプロジェクトからの参加：

- ・CfCAからはプロジェクト長がほぼ一人で対応されていたのが残念だった。他のメンバーにも非常に参考になる議論があった。今年度のプロジェクト評価ではぜひ、プロジェクト長以外のメンバーもできるだけ出席し、EECのコメントを直接聞いていただきたい。
- ・科学研究部の評価（2022年度）では多くのメンバーが参加され、いろいろな意見を言われていた。フィードバックをかける観点からは、他のメンバーももっと参加した方がよかったかもしれない。
- ・科学研究部の評価では、若手研究者らと個別に話がしたいとEECから依頼があった。CfCAの評価ではそのような依頼はなかったため、プロジェクト長よりメンバーへ（研究時間を削るのは申し訳ないので）自分が対応するから、時間がある人は冒頭と最後のセッションのみ参加するよう指示があった。

#### ● 評価報告書の修正：

- ・評価報告書の一部に、プロジェクト予算に関する数値が記載されている。公開版の評価報告書では、スパコンリース代・電気代等は削除した方がよいのではないか。
- ・CfCAと契約する会社にとっても、公表するのは良くないと思う。

### 議題 6．2025年度プロジェクト評価について

齋藤委員長より、資料5、6および参考資料5に基づき、2025年度プロジェクト評価の対象となる、太陽観測科学プロジェクト（SOL）および天文データセンター（ADC）について、各プロジェクト・センターによる原案に執行部が加筆修正を行った「評価に関する4項目」の説明があり、審議が行われた。外部評価コーディネータは、2件とも鶴澤技術主幹に決定した。

---

<sup>2</sup> EDI：Equity/公平性、Diversity/多様性、Inclusion/包摂性

今後、EEC委員候補者へ事務局より委員就任を依頼し、委員決定後はEECに評価計画書を作成いただき、今年度中に評価を行う予定で進める。

### 主な意見・質疑応答

#### ●SOL評価：

- ・SOLAR-Cは2028年打上げ予定で、宇宙科学研究所（ISAS）はこれを死守する感じで進めており、国立天文台もそれに向かって仕事をしている。
- ・評価する部分は、地上観測と「ひので」等の飛翔体により成果が出ているかどうかであり、SOLAR-Cは対象外でよいのか？
- ・SOLのミッションにSOLAR-C推進が位置付けられているので、衛星開発へのリソース配分が適切かは評価項目に含まれている。SOLAR-Cの開発はJAXA（の方針）に則って行っているため、国立天文台がSOLAR-Cプロジェクトをこのような形で評価することは今は考えていない。

#### ●ADC評価：

- ・ADCは全分野について公平にデータ取得・解析を行っているわけではないのか？重力波グループが将来のデータ取得・保存に関する要望をADCに伝えたが、（今のリソースでは困難であると）断られた。将来、重力波の実験データがたくさん出てきたとき、皆が使えるようデータを保存する方向にあるのか、今後の方針が現時点で見えないのが残念に思う。
- ・それは評価項目「台外および台内からの期待・要請への対応」に含まれると思う。
- ・同評価項目に対する具体例として、EECへ伝えることは可能である。ADCには、理由があるのなら明らかにしてもらい、将来どうするか答えていただくことは可能だろう。

#### ●EEC（外部評価委員会）委員：

- ・プロジェクト側が順位付きで提出した委員候補者案に、執行部が若干名追加した。
- ・委員長は、これまでの評価では海外委員だったが、国内委員でも問題ない。
- ・意見をはっきり言って下さる方が委員に含まれた方がよい。
- ・可能なら、委員は同じ機関の方でない方がよい。
- ・国内委員候補者に女性がいなのが気になった。

### 議題 7. その他

齋藤委員長より、CfCA評価報告書（議題5）に関して、6月18日開催の運営会議での報告に間に合わせるため修正作業を速やかに行いたく、修正案のメール審議への協力依頼があった。また、CfCA評価結果に対する本委員会の意見は、「意見書」でなく議事（抄）録に残すことが再度確認された。

以上